Literature cited

Maekawa, F. 1958. Notes on Japanese orchids (1). Journ. Jap. Bot. **33**(10) : 315-320. Mehra, P. N. & R. N. Sehgal 1978. IOPB chromosome number reports, 61. Taxon **27**: 375-392. Sander's list of orchid hybrids. 1987. The Royal Horticultural Society, London. Seth, C. J. & P. J. Cribb. 1984. A reassessment of the sectional limits in the genus *Cymbidium* Swartz. *In*: Ed. J. Arditii, Orchid biology Vol. III. Cornell Univ. Press, London. Tanaka, R. 1959. On the speciation and karyotypes in diploid and tetraploid species of *Chrysanthemum* I, Karyotypes in *Chrysanthemum boreale* (2n=18). Journ. Sci. Hiroshima Univ. Ser. B, Div. 2, **9**: 1-16. ——— 1965. Chromosome numbers of some species of Orchidaceae from Japan and neighbouring area. Journ. Jap. Bot. **40**(3) : 65-77. ——— 1971. Types of resting nuclei in Orchidaceae. Bot. Mag. Tokyo **84**: 118-122. ——— & H. H. Kamemoto 1984. Chromosomes in orchids. Counting and numbers. *In*: Ed. J. Arditii, Orchid biology Vol. III. Cornell Univ. Press, London.

* * * *

ナギランとその類縁種のアキザキナギラン，マヤランについて，日本の11場所，外国の4場所産の野生株の染色体数を算定し，3種がいずれも 2n=38 であることがわかった。但し，ナギランで 2n=38+1 過剰染色体，アキザキナギランで 2n=38+5B の各1株，アキザキナギランで 2n=57 (3倍体) 1株が見出だされた。この結果，*Cymbidium* 属には，その大多数の種が 2n=40 であるのに対して，2n=38 の小種群が存在することがわかった。

□小林義雄・大谷吉雄・萩原博光(編)：**南方熊楠菌誌** 第一巻 177 pp. 1987. 自費出版 (和歌山県田辺市中屋敷町36 南方文枝). ￥7500 (送料 ￥400). 熊楠の採集した真菌類で少くとも標本，彩色図，記載のいずれかが保存されているものは4,750件ある由である。今回は1) 盤菌綱102点について可能なかぎりの同定がなされ(日本新産2種)，熊楠のメモ (記載または採集データ) が活字にされている。2) 膠質菌類，腹菌類，キシラリヤ，ツラフ，その他として，同定された69種のメモが活字にされ，熊楠全集から16の文章が転載されている。3) 変形菌類については熊楠と弟子達によるリストを中心に，全集からの転載文がちりばめられている。近く第二巻が予定されている。県外の方は小林氏 (千葉県船橋市丸山町 5-33-1) に連絡するとよい。 (三浦宏一郎)